

渦の音クラブたより(2011年9月号)

事務局長:賀川浩一(昭54年卒)、事務局:三橋浩志・稔子(昭59年卒)

HP: <http://uzunooto.jp/> メール: info@uzunooto.jp

郵便: 〒142-0061 東京都品川区小山台2-5-5-407、ファックス: 03-3716-4220

1. 今年の「渦の音クラブの集い」は11月13日(日)に遠藤元会長を講師に迎え開催

今年の「渦の音クラブの集い(総会&懇親会)」は、以下の通り開催されます。同封の案内をご覧の上、振替用紙にて参加費をお支払いのうえ、ふるってご参加下さい。

◆平成23年度「渦の音クラブの集い(第36回総会・懇親会)」◆

日時: 2011年11月13日(日) 12時より

次第(予定): 12:00-12:20 総会

12:20-13:20 講演会

13:30-15:30 懇親会

会場: ホテル・ニューオオタニ(紀尾井町)内 レストラン「ガンシップ」(ガーデンコート 4階)

(講演会の講師)

遠藤哲也氏(元・IAEA理事会議長/元・原子力委員会委員長代理)

<昭和28年卒、渦の音クラブ元会長>

演題:「福島原発事故の国際的な影響」

外交官として我が国の原子力政策に関わってきたご経験から、福島原発事故の世界への影響や世界の原子力政策の動向という、極めてホットな話題をご講演頂く予定です。

幹事学年: 昭和56年卒&昭和57年卒

※懇親会では、センバツ甲子園大会での報徳学園戦のビデオを放映予定です。あの勝利の感動を皆さんと一緒にもう一度味わいましょう! また、竹内雅男様(昭和54年卒)には今年も「慶應ライトミュージックソサエティオーケストラ」OBによるバンド演奏をお願いしております。楽しみです。

2. 昨年の「渦の音クラブの集い」の様子

既にホームページ等でご報告済ですが、昨年の「第35回 渦の音クラブの集い」は2010年11月14日(日)に、85人を超える参加者を集めて盛大に開催されましたので、以下にご報告します(肩書きは2010年の「渦の音クラブの集い」開催当時のものです)。

(1)総会

賀川浩一事務局長(昭和54年卒)の司会で始まった総会は、冒頭、公務多忙の中駆けつけた仙谷由人官房長官(昭和39年卒)より挨拶がありました【写真1】。また、元・渦の音クラブ会長の平井学氏(昭和8年卒:10月11日死去)、渦の音クラブ常任理事の西村正之氏(昭和52年卒:11月1日死去)など、渦の音クラブ関係者で鬼籍に入られた方のご冥福をお祈りして黙祷を捧げました。その後、澤田達男会長(昭和49年卒)の開会挨拶、2009年度の会計報告、2010年度の事業計画と予算が報告、承認されました。そして、来賓の岡田啓二校長先生【写真2】、森一生同窓会副会長(昭和48年卒)

【写真3】より、野球部の活躍などを中心に、母校の現状や同窓会の状況、後援会の紹介と協力依頼を含めたご挨拶がありました。



(2)講演会

引き続き行われた講演会は、脳神経外科医でテレビ等にも多数出演してご活躍の阿部メディカルクリニック院長の阿部聡先生(昭和51年卒)を講師に迎え【写真4】、「下町で診る」と題して、下町の歴史を分かり易く解説するなかで、下町の間づきあいと脳の関係について「居場所」をキーワードとした楽しいお話をお聞きすることができました【写真5】。



(3)懇親会

会場を移して、幹事学年の桜井歩さん(昭和57年卒)の司会で始まった懇親会は、まず出席者で最年長の榊富進氏(昭和23年卒)に乾杯の挨拶を頂戴しました【写真6】。なお、北朝鮮拉致被害者の横田めぐみさんのお父様の横田滋さん(八万小学校卒業、旧徳島中学に1年生まで在学)から、同じ徳島中学・城南高校の同窓生への拉致問題解決に向けたメッセージが寄せられ、榊富さんが代読しました(横田めぐみさんのお祖父さんの横田庄八先生は、昭和18年まで旧徳島中学の漢文の先生だったそうです)。



懇親会では、今年も竹内雅男氏(昭和54年卒)を中心とする「慶應ライトミュージックソサエティオーケストラ」OBメンバーによるジャズ演奏のもと、同窓生による楽しい懇親が行われました。今年の懇親会企画は「東京で味わう徳島の味」と題して、昭和56年卒と昭和57年卒の幹事有志の実体験を踏まえたグルメレポートがスライドにより報告されました。また、徳島県東京事務所の利徳拓也係長(昭和6

4. 母校、故郷のための支援・協力のお願い

(1) 渦の音クラブによる母校部活動への支援

渦の音クラブでは、全国大会で上京した母校の部活動に支援を行っています(「春高バレー」への支援など)。渦の音クラブの会費は、会員の皆様への連絡費用に留まらず、母校への支援金の原資ともなっておりますので、会費の納入を宜しく願います。

(2) 城南高校後援会による母校部活動への支援と「同窓会報」の発行協力金

城南高校では各種部活動への支援を行う「城南高校後援会」が平成13年に発足し、PTAである松柏会、同窓生の交流を図る同窓会と連携して部活動への支援活動を行っています。後援会と本部同窓会のホームページも充実が図られ、インターハイへの遠征支援などを行っています。支援金の振り込み方法などの詳細は城南高校後援会のHPをご覧ください。また、同窓会本部が発行している「同窓会報」は、85号(7月22日発行)より全卒業生(住所が判明している約2万5千人)への個別郵送になりました。「発行協力金」の案内が同封されていたと思いますので、ご協力宜しく願います。

(3) 「ふるさと納税」による故郷徳島への支援

故郷徳島への支援を行う「ふるさと納税」制度も既に4年目を迎えました。徳島県のふるさと納税額は全国でも上位であり、徳島県人の故郷への「熱い想い」が伺えます。「ふるさと納税」は、徳島県等に郵便振り込み等で寄付金を振り込み、その寄附金のうち一定の額(所得により3,800円～4,850円)を超える部分については、住民税の概ね1割を上限として所得税と合わせて控除されます。また、徳島県の場合は、広報誌「OURとくしま」1年分(年8回)、特産品のすだち、県立施設(近代美術館、文学書道館、渦の道など)ペア招待券などがお礼として送られるそうです。「渦の音クラブの集い」でふるさと納税のパンフレットをお渡しする予定ですので、ご協力宜しく願います。

5. 事務局たより

東日本大震災から既に(未だ・・・)6ヶ月となりました。被害を受けた皆様には、心よりお見舞い申し上げます。3月11日は、都内で城南高校の春のセンバツ甲子園出場を応援する会を開催する前日でした。都内での甲子園出場を応援する会は中止となりましたが、開催準備等でご協力頂いた皆様、本当にありがとうございました。

我が家で伝統ある渦の音クラブの事務局をお引き受けして1年が過ぎました。至らない点多々ありますこと御容赦下さい(個人宅のため連絡がメール、fax 中心となっております)。ホームページもブログは書き込んでおりますが、今後はHPの更新頻度を一層高め、会員の皆さまとの連絡を密にしていきたいと考えておりますので、ご支援宜しく願ひ申し上げます。

また、8月13日(土)に徳島で開催された同窓会本部総会には、渦の音クラブから澤田会長、生田副会長が参加しました(写真は同窓会本部総会で挨拶する澤田会長)。同窓会本部と渦の音クラブ(関東地区同窓会)の連携を密にし、母校の支援と、同窓生の交流の強化・拡大、渦の音クラブの発展に努めたいと思います。



なお、2011年の「渦の音クラブの集い」の講師の渦の音クラブ元会長の遠藤哲也氏(昭28卒)は、2010年春の叙勲で「瑞宝中綬章」を授与されております。心よりお慶び申し上げます。

事務局：三橋浩志・稔子(昭和59年卒) 発行：2011年9月15日